

REGIONAL  
ECONOMY

# マトリックス

14

## やるぞ、万博

~中小・新興の挑戦~

### 災害時要救助者探知システム

マトリックス（大阪市中央区、辻義光社長）は、東京マラソンのタイム計測で採用された独自の非接触ICタグ技術を活用した「災害時要救助者探知システム」を2025年大阪・関西万博に出展

に役立てるのが狙いだ。同システムは災害で建物が倒壊して埋もれた被災者を見つけ、人命救助に役立つのが狙いだ。

## ICタグ駆使素早く発見

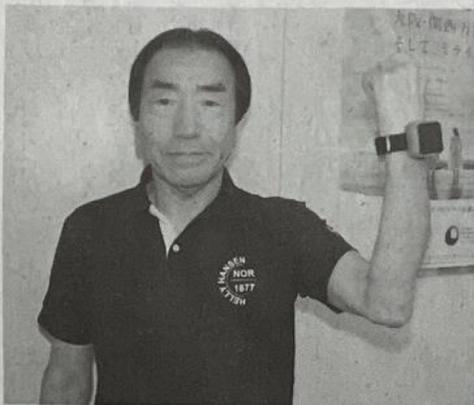
する。阪急阪神ホールディングスグループで登下校見守りシステムを扱うミマモルメ（同福島区）、

要救助者は磁界の検知時に電波を送信するICタグ搭載の多機能腕時計型

デバイスを付け、磁界を与え対象物を認識する検知ユニットで探し出す。

25年春までに製品を具

てきた。技術のアイデアは特許にしたが製品化には至らず、今回は他社の力も借り万博に挑むことにした。



辻社長は1995年の阪神・淡路大震災で、建物倒壊による発見が遅れ命を失った事例に心を痛めた。「ICタグの技術で人が助かる方法はないか」と検討し

補完する計画だ。辻社長は「ICタグと人工知能（AI）を使った画像処理技術なども組み合わせたい」とアイデアを練る。

（展示期間 25年10月7-13日）（随時掲載）

西日本